

---

# 芦田川水系芦田川河川改修事業の事業評価について

---

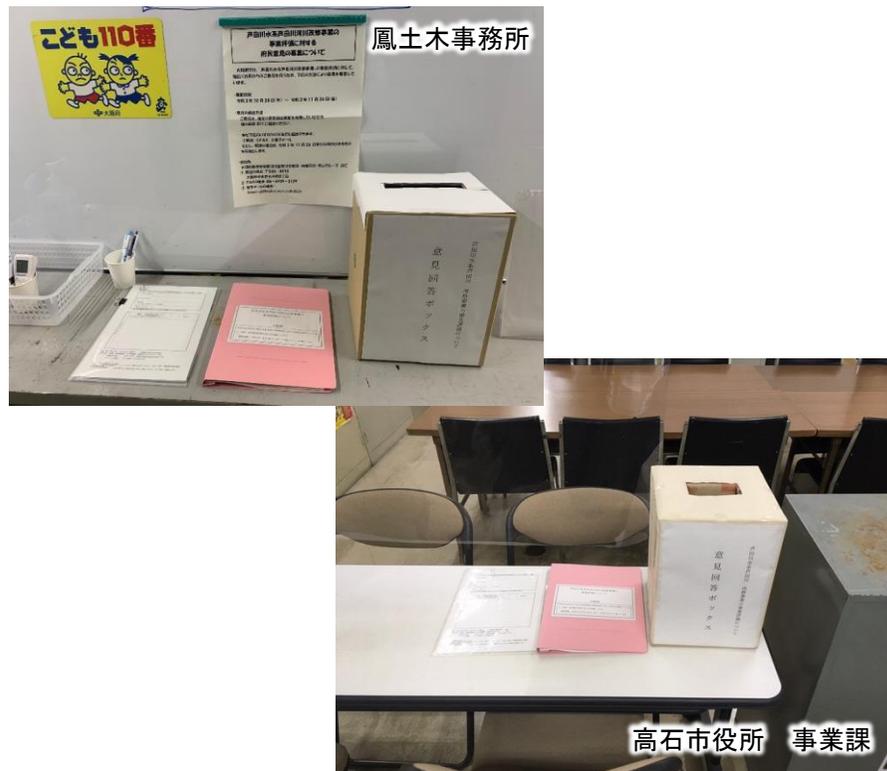
芦田川水系芦田川河川改修事業の事業評価に対する  
主な意見と回答について（府民意見募集結果）

## 【図書縦覧】

➤ 意見募集期間：令和3年10月28日（木）から令和3年11月26日（金）まで

### 縦覧図書

- 第1回 河川整備審議会資料（R3.10.25）
  - ・河川改修事業の再々評価調書
  - ・芦田川水系芦田川河川改修事業の事業評価について



### 縦覧場所

- 以下の4箇所
  - ・大阪府府政情報センター（大阪府庁本館5階）
  - ・大阪府都市整備部河川室（大阪府庁別館4階）
  - ・大阪府鳳土木事務所
  - ・高石市役所 事業課



# 芦田川水系芦田川河川改修事業の事業評価に対する府民意見募集について

## 【幅広い意見募集】

- 意見募集期間: 令和3年10月28日(木)から令和3年11月26日(金)まで
- 府民の皆様から幅広くご意見を募集するため、ホームページ掲載に加え、「大阪府公式Twitter」からも意見募集の案内を広報。

## 【ホームページ掲載】

### 大阪府(河川室)

芦田川水系芦田川河川改修事業の事業評価に対する府民意見募集について

大阪府では、建設事業の効率性及び実施過程の透明性の向上を図ることを目的として、建設事業の実施や継続の可否を判断する建設事業評価を実施しています。このうち、河川事業・ダム事業において一定の要件を満たす事前評価及び再評価にあたっては、学識経験者等で構成される「大阪府河川整備審議会」の意見を聴き、その意見を尊重して対応方針を決定します。同審議会においては、透明性の一層の向上のため、このたび、芦田川水系芦田川河川改修事業の事業評価について、府民の皆様のご意見を募集します。なお、ご意見については、下記要領に従い提出をお願いします。

対象事業名

芦田川水系芦田川の河川改修事業について

#### 1. 募集対象項目

芦田川水系芦田川河川改修事業の事業評価

[芦田川水系芦田川河川改修事業の再々評価調書 \[Wordファイル/46KB\]](#)

[芦田川水系芦田川河川改修事業の再々評価調書 \[PDFファイル/374KB\]](#)

[芦田川水系芦田川河川改修事業の事業評価について \[PDFファイル/9.03MB\]](#)

#### 2. 募集期間

令和3年10月28日木曜日 9時00分 から 令和3年11月26日金曜日 24時00分  
(募集期間内に必着のこと。)

## 【住民への聞き取り】

- 試行的に、流域の地元自治会に対して本事業に関する聞き取りを実施し、4通(10件)のご意見をいただいた。

## 「大阪府公式Twitter」からの意見募集の広報

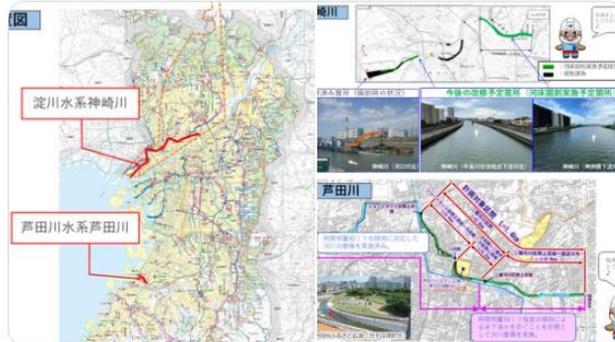


もずやん@大阪府広報担当副知事  
@osakaprefPR



©2014 大阪府もずやん

摂津市から大阪市へ流れる神崎川と、高石市を流れる芦田川で、安全な川にするための工事をしていってるねん！どんな川にしたいか、みんなの意見を聞かせてな♪  
○神崎川はこちら [pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/kei...](https://pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/kei...)  
○芦田川はこちら [pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/kei...](https://pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/kei...)  
#土木もずやん #インフラへの理解促進 #意見募集



いいね！ 131件※2021 11/30現在  
※大阪府公式Twitterへのコメントは3通  
(ただし、事業評価に関する意見は0通)

## 府民意見募集結果の概要

いただいたご意見の総数は、**11通**

項目	件数
1. 治水対策	5件
2. 環境整備	2件
3. 事業進捗の見込み	4件
4. その他	7件※ <sup>1</sup>
【合計】	<b><u>18件</u></b> ※ <sup>2</sup>

※1 7件のうち、1件は「公表を希望しない」と回答

※2 意見書に複数意見が書かれたものをそれぞれ1件として算定

# 芦田川水系芦田川河川改修事業の事業評価に対する府民意見募集について

## 1. 治水対策に関するもの 1/2

※下線部:ご意見の中でキーワードとなる表現を事務局にて抽出

いただいたご意見(5件)	①既実施事業は、 <u>時間当たり80ミリ対応</u> となっているが、 <u>今後の改修事業は、50ミリ対応</u> が設計基準となっている。 <u>両者の整合性</u> について触れて頂きたい。 ← <u>地元自治会からのご意見</u>
	②事前にシミュレーションをされているならば、ハザードの強さと範囲に関して <u>今後の工事による効果</u> 予想を示して頂きたい。 ← <u>地元自治会からのご意見</u>
	③ <u>気候変動</u> に伴い、ゲリラ豪雨や線状降水帯発生等による今後の大雨は、更に過酷になるのではないかと懸念される。その点(今後の事業)について十分に配慮して頂きたい。 ← <u>地元自治会からのご意見</u>
	④芦田川は、綾井住宅自治会内を流れる川で水位が最も心配される地域です。時間雨量80ミリの想定はもう過去のものに思われます。 <u>地球温暖化の影響</u> からか、全国各地で線状降水帯が発生して大きな被害が起きています。これを想定外として片付けられますか？高齢者が多く大変不安です。 ← <u>地元自治会からのご意見</u>
	⑤今後、 <u>100mm以上の雨量</u> にも対応して頂きたい。 ← <u>地元自治会からのご意見</u>
いただいたご意見に対する事業者の回答(案)	【当面の治水目標について】→意見① ➤ 大阪府では、「人命を守ることを最優先とする」ことを基本理念に、今後20～30年程度で目指すべき当面の治水目標を河川毎に設定し、総合的な減災対策に取り組んでいます。 ➤ 芦田川では、整備区間約1.4kmのうち、二層河川区間は時間雨量80ミリ程度(概ね100年に一度)の対策で継続し、二層河川から国道26号までの約0.8kmにおいては新たな方針に基づいて決定しています。 ➤ 二層河川から国道26号においては、時間雨量50ミリ程度(概ね10年に一度)の降雨による洪水を安全に流下させることを当面の治水目標とし、時間雨量80ミリ程度の降雨に対しては、人命を守ることを最優先に流域全体で床上浸水の発生を防ぐことを目標として河川改修事業を実施しています。

## 1. 治水対策に関するもの 2/2

いただいたご意見に対する事業者の回答(案)

### 【事業による効果について】→意見②

- 大阪府では洪水リスク表示図※1の中で「現在の洪水リスク」に加えて「河川改修後の洪水リスク」も公表しており、その洪水リスクの減少による事業効果を示しています。

※1:大阪府 洪水リスク表示図

<http://www.river.pref.osaka.jp/>

### 【整備レベルを超える降雨に対するソフト施策・気候変動への対応について】→意見③④⑤

- 地球温暖化に伴う気候変動の影響等によって、施設の能力を大幅に上回る外力(災害の原因となる豪雨、洪水、高潮等の自然現象)により、水災害が発生する懸念が高まっています。このため、今後、国土交通省の「気候変動を踏まえた水災害対策のあり方について【答申】R2.7※2」を踏まえ、引き続きハード整備を推進し、併せてソフト対策を行っていきます。
- 芦田川では、時間雨量50ミリ程度の降雨による洪水を安全に流下させることを当面の治水目標とし、時間雨量80ミリ程度の降雨においては、人命を最優先し、流域全体で床上浸水の発生を防ぐことを目標として河川改修事業を実施しています。
- 治水施設の整備水準を超える津波や高潮・洪水などに対しては、人命を守ることを最優先に、「防ぐ」施策を着実にすすめつつ、「逃げる」、「凌ぐ」施策の強化により対応します。なお、「逃げる」施策の推進にあたり、緊急時の河川防災情報の提供や関係市のハザードマップによる洪水リスクの周知やタイムライン(防災行動計画)等により、ソフト対策の充実を図っています。また、「凌ぐ」施策として、ため池管理者である土地改良区等や農林部局と協議のうえ、治水活用の取り組みを進めています。
- 大阪府では府民の避難支援のため、地域の特性を踏まえた洪水リスクの周知※3や河川カメラ等によるリアルタイムの情報発信を行っていますので、市・区役所の避難情報などと併せ、避難行動に役立ててください。

※2:気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会

[https://www.mlit.go.jp/river/shinngikai\\_blog/shaseishin/kasenbunkakai/shouinkai/kikouhendou\\_suigai/index.html](https://www.mlit.go.jp/river/shinngikai_blog/shaseishin/kasenbunkakai/shouinkai/kikouhendou_suigai/index.html)

※3:大阪府 洪水浸水想定区域図

<http://www.pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/keikaku/kozuishinso.html>

# 芦田川水系芦田川河川改修事業の事業評価に対する府民意見募集について

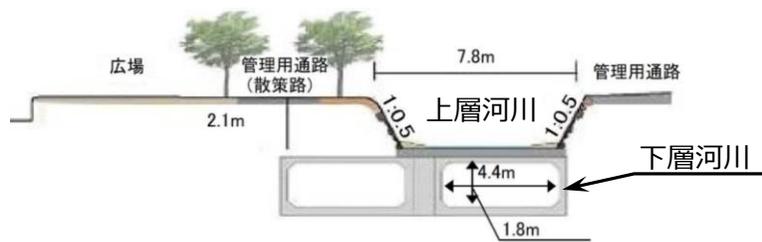
## 事業内容

- 芦田川は、時間雨量50ミリ程度の降雨による洪水を安全に流下させることを当面の治水目標とし、時間雨量80ミリ程度の降雨においては、人命を最優先し、流域全体で床上浸水の発生を防ぐことを目標として河川改修事業を実施しています。

令和3年度第1回  
河川整備審議会  
資料より抜粋

区間	延長	整備内容
ショートカット区間上流端～万成橋	0.4km	時間雨量80ミリ程度の降雨を安全に流下させるために、二層河川区間として、地下部のボックスカルバートの設置、地上部の河川整備を実施。また、河川整備に合わせて橋梁の架替工事(2橋)を実施。
万成橋～二層河川上流端	0.2km	時間雨量80ミリ程度の降雨を安全に流下させるために、二層河川区間として、地下部のボックスカルバートの設置、地上部の河川整備を実施。また、河川整備に合わせて橋梁の架替工事(2橋)を実施。
二層河川上流端～国道26号	0.8km	時間雨量50ミリ程度の降雨による床下浸水を防ぐために、現況河川の拡幅を実施。また、河川整備に合わせて橋梁の架替工事(5橋)を実施。

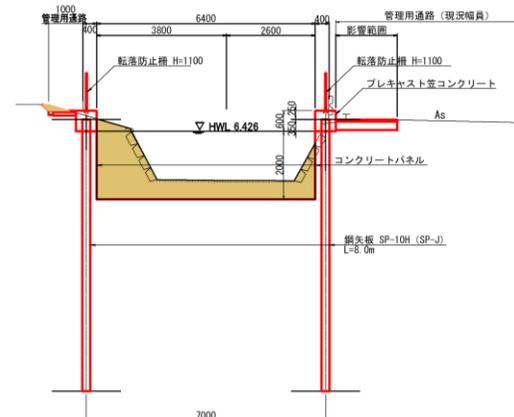
ショートカット区間上流端～万成橋



万成橋～二層河川上流端



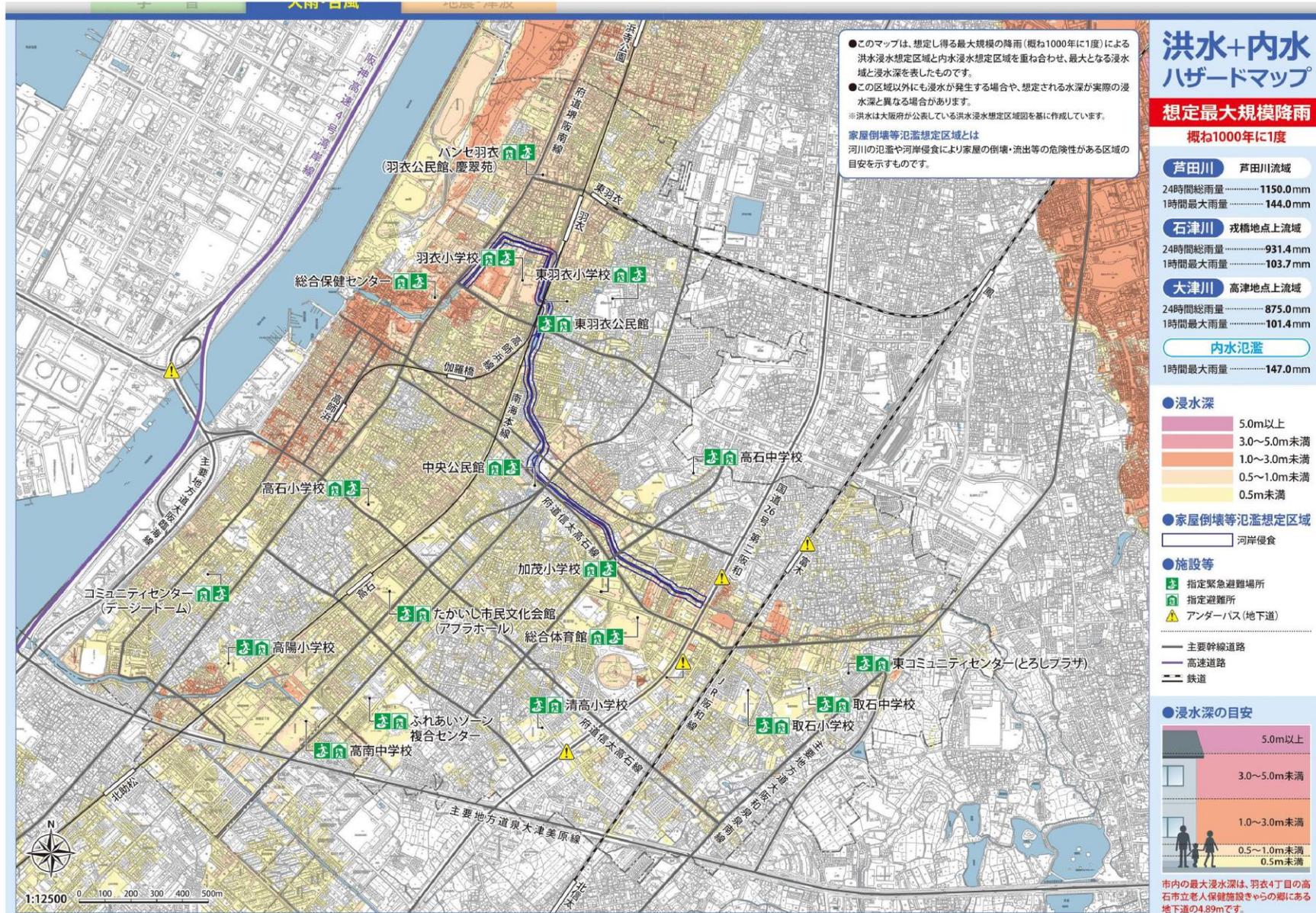
二層河川上流端～国道26号



# 芦田川水系芦田川河川改修事業の事業評価に対する府民意見募集について

## 高石市洪水・内水ハザードマップ（想定最大規模降雨） 令和3年6月

令和3年度第1回河川整備審議会資料より一部抜粋



# 芦田川水系芦田川河川改修事業の事業評価に対する府民意見募集について

## 2. 環境整備に関するもの

※下線部:ご意見の中でキーワードとなる表現を事務局にて抽出

ご意見(2件) いただいた	<p>①ふるさと広場は子供たちが水辺に触れられる素晴らしい空間となっているので、今後の事業箇所についても<u>利活用や景観に配慮した整備</u>をしてほしい。</p>
	<p>②ふるさと広場のような<u>きれいな空間が整備</u>されることを望みます。</p>
いただいたご意見 に対する事業者の 回答(案)	<p><b>【利活用・景観等への配慮について】→意見①②</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>➤ 芦田川では、二層河川区間約0.5kmを「ふるさとの川整備事業」のモデル区間として、治水対策を基本に水辺環境にも配慮した周辺施設との一体的な整備を実施してきました。なお、整備後の維持管理については、高石市や地元にも協力頂きながら取り組んでいるところです。</li><li>➤ 今後の事業区間においても、利活用や景観に配慮した整備に向け、高石市と協議・調整を進めていきます。</li></ul>

# 芦田川水系芦田川河川改修事業の事業評価に対する府民意見募集について

## 3. 事業進捗の見込みに関するもの

※下線部:ご意見の中でキーワードとなる表現を事務局にて抽出

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">いただいた意見(4件)</p>	<p>①雨が降ると水位が一気に上がるので危険を感じる。<u>なるべく早く工事して欲しい。</u></p>
	<p>②浸水計算結果を見ると現在の浸水範囲に福祉施設や小学校が含まれているので、<u>二層河川上流側についても早期に完成されることを望みます。</u></p>
	<p>③二層河川上流端～国道26号間の改修事業は是非進めていただきたい。 ←地元自治会からのご意見</p>
	<p>④ふるさと広場の完成以降、川の氾濫もなくなり、すごい効果を感じています。しかしながら、まだ工事をされていない区間では、大雨だったり、ゲリラ豪雨の際は、水位がかなり上がるので危機感をもっています。<u>早期に残り区間についても、工事に入ってくださいようお願いします。</u></p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">いただいたご意見に対する事業者の回答(案)</p>	<p><b>【早期完成に向けた整備について】→意見①②③④</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 芦田川では、時間雨量50ミリ程度の降雨による洪水を安全に流下させることを当面の治水目標とし、時間雨量80ミリ程度の降雨においては、流域全体で床上浸水の発生を防ぐことを目標として河川改修事業を実施しています。</li> <li>➤ 現在、整備対象区間約1.4kmのうち、二層河川区間の約0.6kmが完了しています。引き続き、二層河川上流端から国道26号の約0.8kmの改修に向けて、高石市と調整・協議を進めながら、整備を進めていきます。</li> <li>➤ 芦田川水系河川整備計画(H28年6月)及び、大阪府都市整備中期計画(R3年3月)に位置付けて事業を進めており、令和2年度末で、事業の進捗率は73%です。今後も、現場条件を踏まえ、大阪府の限られた予算の中においても早期に当面の治水目標が達成できるよう、新技術の活用によりコスト縮減を図るなど、事業の進捗に努めます。</li> </ul>

# 芦田川水系芦田川河川改修事業の事業評価に対する府民意見募集について

## 事業の進捗状況

➤ 整備対象区間1.4kmのうち、“ショートカット区間上流端～万成橋”と“万成橋～二層河川上流端”の0.6kmが完了。

令和3年度第1回  
河川整備審議会  
資料より抜粋



### 前回評価時以降の整備区間

H28～R2年度に整備済み (H30年度完成) L=0.2km

改修前 (H9年)



改修後 (R3年)



## 4. その他 1/2

※下線部:ご意見の中でキーワードとなる表現を事務局にて抽出

- ① 芦田川の水量は夏場には特に少なく藻が発生して腐り、ドブ川状態になって酸素量が少ない生物の住めない汚い川になっています。浄化した下水道の水を上流から流すとか対策はないものですか。  
←地元自治会からのご意見
- ② 夏場の藻の繁殖で臭いも気になるので、その対応も合わせてお願いできればと思います。  
←地元自治会からのご意見
- ③ 評価調書について、1つ1つの項目だけでなく、全体的な評価も書き足して欲しい。B/Cを使った評価について、もう少しわかりやすく、どういう評価になっているのかを府民が納得・理解できるように表示してほしい。
- ④ 10年位前に芦田川から約50m位の所に住んでいました。芦田川の水位が上がり危険な状態が続き心配しました。それから改修工事が始まり現在に至っています。川沿いの人はもちろん近隣の方々も安心して生活されていると思います。工事関係者皆様の安全第一に完成まで頑張ってお下さるよう心から願っています。  
←地元自治会からのご意見
- ⑤ 沿川に住宅があるので、9年前に道路まで冠水したときは、次に同じことになれば被害が大きくなると心配していた。そのため河川事業の進捗はありがたいことだと感じている。  
←地元自治会からのご意見
- ⑥ 近年の洪水被害に危機感を持っていたので、事業を進めていただけてありがたいです。今後ともよろしく願います。

いただいた  
(6件)ご意見

## 4. その他 2/2

いただいたご意見に対する事業者の回答(案)

### 【水質・水量について】→意見①②

- 水質(BOD)は改善し、H25年以降の平均値は、環境基準B類型※<sup>1</sup>に相当する3mg/L 未満をほぼ維持していますが、引き続き、流域住民や下水道部局、農林部局等と連携し、身近な自然環境にふれあえる水辺空間の創造に向けて負荷軽減などの水質改善に努めます。
- 水量について、下水道普及率の上昇等に伴い流量が減少しますが、河川の水質や景観及び動植物の生息・生育環境に十分配慮し、確保すべき流量の設定に向けて引き続きデータの蓄積に努めるとともに、地域住民及び利水関係者との協議を通して、流量の確保に努めます。

※1 環境基準B類型：次のような水域をいう（出典：<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0505/suisitukankyokijun.html>）

- ・浄水操作を行えば上水道用水源として利用可能な程度（水道3級相当）
- ・サケ、アユ等が漁獲できる程度（水産2級相当）

### 【事業評価の資料について】→意見③

- 今回の芦田川の事業再々評価においては、「大阪府建設事業実施要綱」に従い事業継続の妥当性に関する対応方針(案)について、外部評価者からなる大阪府河川整備審議会にて、ご審議いただいています。
- 今後も、河川整備に係る建設事業評価について、大阪府HP等を通じて広く皆様へご理解いただけるよう、他事業の事例も参考に、資料作成や周知について工夫していきます。

### 【工事の実施について】→意見④⑤⑥

- 引き続き、安全に留意して関係機関調整や工事の進捗に努めます。

## 対応方針(案)

### 事業の必要性等

- 現時点で再度、芦田川の費用対効果を算出したところ、B/Cは9.7であり、事業実施の妥当性を有する投資効果が確認できる。
- また、高齢化の進展並びに気候変動など新たに社会情勢が変化する中においても、自然災害に対する安全・安心の確保に向けた事業の必要性が高まっていること、地元市からも河川改修事業の進捗を望まれていることから、本事業の必要性に変わりはない。

### 事業の進捗の見込み

- 芦田川水系河川整備計画（H28年6月）及び、大阪府都市整備中期計画（R3年3月）に位置付けて事業を進めており、令和2年度末で、事業の進捗率は73%である。これまでも、河道改修を推進し、治水安全度の向上に努めるなど、着実に成果を上げており、早期完成を目指し、引き続き事業を継続することが妥当である。

### コスト縮減や代替案等の可能性

- 河川整備計画に基づく整備を予定しているが、残土の工事間流用等による更なるコスト縮減やより効率的な対策等について引き続き検討を行う。
- 河川管理用通路等の維持管理については、遊歩道として地元市が管理している。

事業の継続

・ 令和3年度 第3回 大阪府河川整備審議会【資料2-2 芦田川水系芦田川河川改修事業の事業評価について】におきまして、委員の意見を受けて、以下のとおり修正を行いました。

## 対照表

修正箇所	修正前	修正後
5ページ	<p>➤ 治水施設の整備水準を超える津波や高潮・洪水などに対しては、人命を守ることを最優先に、「防ぐ」施策を着実にすすめつつ、「逃げる」、「凌ぐ」施策の強化により対応します。なお、「逃げる」施策の推進にあたり、緊急時の河川防災情報の提供など、ソフト対策の充実を図っています。</p>	<p>➤ 治水施設の整備水準を超える津波や高潮・洪水などに対しては、人命を守ることを最優先に、「防ぐ」施策を着実にすすめつつ、「逃げる」、「凌ぐ」施策の強化により対応します。なお、「逃げる」施策の推進にあたり、緊急時の河川防災情報の提供や関係市のハザードマップによる洪水リスクの周知やタイムライン(防災行動計画)等により、ソフト対策の充実を図っています。また、「凌ぐ」施策として、ため池管理者である土地改良区等や農林部局と協議のうえ、治水活用の取り組みを進めています。</p>
7ページ	(なし)	<p>(新規追加)</p> 